



Title	都市社会学 : 昭和28年度特殊講義案
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1953
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77382
Type	manuscript
Note	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。雑。
File Information	N023_01S28.pdf



[Instructions for use](#)

NOTE BOOK
Special Quality

都市社会学
二十八年季
竹内实清 著

九
九

HIGH CLASS



No.123

123

岡崎田ヶ野

ここはシカゴ (Cidade) と呼ぶ。

シカゴはシカゴの意。

郡すなわち地である。セントポールから

シカゴと呼ぶが、ここは、知し

また、ヴィラ (Villa) の程、なと

地も人もある。ヴィラは Village の

意。

この地元の表は、現にシカゴ

と書いてあった。

全郡内

人口約二万の内、地帯地帯三百戸

シカゴ、セントポール、セントルイス、
シカゴ

同名の郡、所在地

今、州内

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

郡、郡役所

工業と都市のありと現地

田園都市や衛星都市の再構想の中にも生業の場としての工場が考へられ
て来よ。都市である方には密着生活
が要求され、土地を広く使用する農業
の如きは都市の生業としては不適
当である。狭い土地の上下の生業で
るべき人が希かしたるものは工業が
當りて適して来よ。

又古い封建都市から製造園とい
ふ都市へ来よ。工業は高層を伴
ふゆゑに、高層が高層を生業
の場としてなくせしめ加へては高層

すよものなまじつ。下駄履は高きと
しこの下駄をその木の上からひき
かきあげ、はな緒をつけ、着る。か
かきしよ。一寸した加工である。
総店も原料の倉庫に加工し
て貯蓄するものがある。
靴へものを仕立て、仕立ての女
原料の木、下駄の。総工は、
りは一履の加工である。工場下
靴を、その木、上は、
今の電気、果し、加工、
型である。菓、心、酒、心、

怒る事である。眞ん中かお作りにしては
若くはしなり、奥肉を食うにせよ、加工
すよのし然り。靴履が洗へによ、その
人丈に合しものを作して、高直の足
最も他人的パインな態度である、
マスプロはよるマスセクンリでは完全
に非人的である。

昔の工場業や工業は、パインの工業
業と若くはインソールインソールの工業
今ではその両方を混在して居る、
工業が都市的と思はれるのは
都市の工業がパインの工業を

たつたの

業をこぼして、旧習の名残である。

産業革命以来工業と商業と分離し

て以来、工業は農村にもその所有

なき地を見出す場合がある。其工業

が^一世の^二終業^三も^四多^五が^六消費^七を^八て^九る^{一〇}中^{一一}に^{一二}密

界するところから大きな消費体と

して都市的産業のよいお得意と

なりた。是れが都市を増大せし

める原因である。

要するに^一密界^二生活^三に適^四し^五土地を

広く用ひたつた山よの^一産業^二界^三として

工業は都市的産業の^一お得意^二か^三

来よ。

唯あま

け水とて高学の如くその先学か人
を相手とするので、人を相手とし
ては存しむたへ先学は、人が多
く集りよとて、程有新である。
是水と豊学の如く人を相手とした
て余分ハ生産しむは是水を豊と
稱す、唯質のもの、は人が居ない
とて、結構である。

高学と豊学の中、中には、
かあつて人を相手とするもの
事、多し、ゆゑ、是水程、なへ
この色々の、能階、な、然し

今日の生業は何れの生業もその水
による金銭を後で生活のに必要を
生活物資の一掃をそのへよれど
その意味で富より仕なへ。

その生業はは何れも何れかの
方法が中絶するよか、^①方法次第に

よって金銭をたよりの物を蓄積に
加つて金銭をたよりのものよかある。正

業かあるよ。同業のよかあるよ。

① 方法次第

② 方法次第
方法次第を造るよ。向けるよ。出

のよ物を運ぶよ。向けるよ。もの

そのしの

(3) と勞役を希冀を怠りて行われ

との三種あり。(1)は農業穀物畜産製造

工業衛生建設業 (2) 商業 (3) は職人

官公本を偉給を治すなり。

右の四帯し人を相手とするのは(2)と

(3)であらうか。(1)は(2)の性質を帯い

ると共に对人的とあり、又(2)を

助長せしむるが目的なり

その对人的性格が都市的なる